

## 2021 年第 2 回 懇話会

企画委員会

新型コロナへは万全の対策が必須ということで、人数制限の開催でした。WSC 会員の年来のご友人が寺社マイスターの資格をもっておられ、その方を講師にお招きしました。会場の出席者と一体になったユニークな内容と素敵な話芸で盛り上がりました。

日 時：11 月 9 日（火）13：30～16：30  
場 所：東京ボランティア市民活動センターB 会議室  
（JR 飯田橋駅隣接セントラルプラザ 10 階）

参加費：会費 300 円

参加者：15 名(コロナ禍で人数制限)

13：30 開催挨拶 理事長

「新型コロナの勢いは少々下火のようなので、用心して企画を進めたい。忘年昼食会、初詣、房総旅行、お花見などの予定があり、開催を乞うご期待です」

13:35 講演 I「日本の寺社と京都世界遺産の寺院」

講師 寺社マイスター Y 氏

YE 会員と YM 会員の友人

紹介 YE 会員から今回の講演の経緯紹介がありました。講師は、同じ会社に勤めていた時代からの永年の交流があり、当時から寺社の蘊蓄がとみに有名でしたと、期待が盛り上がる紹介でした。

講演 スクリーンを使用せず、出席者を巻きこんで会場を盛り上げる楽しいお話でした。お話の内容と素晴らしい話芸に感動しました。

お話の締めくくりは、油断大敵の教訓でした。

【自己紹介】 この方面に興味をもったのは、17 歳で栗林公園に魅せられたのが発端。そもそもの趣味は、日本庭園を巡るのが趣味。これが昂じてお寺や神社巡りをする。京都の寺社マイスターの試験に合格。リタイア後、東北 1,114 か所の巡りを 10 年間 43 泊 57 日間で終了。

【神仏習合】 日本の歴史で普通な事。除夜の鐘はお寺、初詣は神社。寺を建築するときは神社をつくり安全祈願をした。明治の神仏分離令は疑問。

【神社の数】 神社 8 万社、  
神社の数 一位新潟県 4,778 社、二位兵庫県 3,840、  
三位福岡県 3,385  
系統 一位八幡信仰 7,817（八幡・若宮、宇佐八幡宮・

鎌倉八幡宮）、二位伊勢 4,425（伊勢、神明、伊勢神宮）、  
三位天神 3,953（天満・天神・北野、大宰府・北野天満宮）

【お寺の数】 お寺 7 万、8 万寺ともいう

お寺の数 一位愛知県 4,111、二位大阪府 2,993、  
三位兵庫県 2,854

人口一人当たり 一位滋賀県

【京都が中心】 京都府の巡り希望か所は 1,051、そのうち 950 か所は巡った。

京都御所から見て、右と左が決まる。

右京区と左京区、右近の橘と左近の桜という具合。

京都からの距離、前・中・後が決まる。

近い順が福井、富山、新潟、したがって越前、越中、越後となる。

京都比叡山からみて、東の江戸寛永寺の山号は、東叡山である。

【京都人の意識】 東京は東の京都。

天皇は東京に貸し出し中、天皇即位式は京都御所で行うことがその証拠。

まる焼けになった先の戦は、1467 年からの応仁の乱。

【寺社の読み方】 寺は音読み、神社は訓読み

寺は中国渡来だから、漢字は音読みとなる。神社は日本古来だから訓読みとなる。

龍の読み方は、先頭にあればりょう、中ならりゅうとなる。龍安寺(りょうあんじ)、天龍寺(てんりゅうじ)。

【京都の世界遺産】 京都府に 17 の社寺がある。

上賀茂神社、東寺、清水寺、延暦寺、醍醐寺、高山寺、西芳寺(苔寺) 天龍寺、金閣寺、銀閣寺などなどいずれもよく知っている寺社はみな文化財。

【油断大敵】 比叡山延暦寺不滅の法灯といわれるが、信長の焼き討ちで消えた。しかし、山形県立石寺にあらかじめ灯していた火を移して、不滅を守った。

延暦寺では、みな気が付け灯の油が途切れないようにしている。まさに、油断大敵です。

14:45 休憩

## 15:00 講演 II 「 浮世絵の東海道での探索の旅 」 ～日本橋から品川～

講師 ワールドステイクラブ理事長

以下は当日の話を本人が紙上で再現したものです。

江戸から明治初頭にかけて、色彩豊かな浮世絵がたくさん残されています。当時の文物、風習、文明開化の象徴の陸蒸気などなど、目を凝らしてみるといろいろな発見があります。今や存在しない大名行列の絢爛豪華さ、現在でもよく似たところがある観光地や宿場の客引き、江戸東京の中心である日本橋の移り変わりなどなど、興味深いもの満載です。

「お江戸日本橋七つ立ち」とは、夜明け前の午前四時に旅への出立です。2時間歩くと最初の宿品川に到着、ここで日の出となります。提燈の明かりを消す頃合いです。

江戸日本橋と京都三条大橋を結ぶ東海道五十三次には、名物がそれぞれありました。今も変わらぬもの、今は目にしないものなどいろいろです。

丸子のとろろ、由比の桜海老、新居の鰻、熱田のきしめんは名物として定着しています。大磯の鮫鱈、水口の干瓢が名物だったとは驚きました。小田原提燈、箱根細工などは今もお土産として人気です。

### 日本橋 五十三次の起点

日本橋には、日本の道路の起点を表す道路元標があります。今も昔も街道の原点です。日本橋が反り橋の木橋であった幕末に、トロイの発掘で著名なシュリーマンが来日

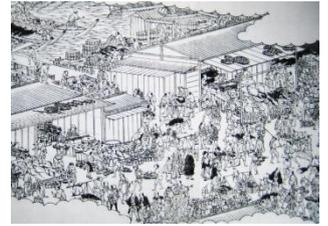


した折に、この日本橋を渡っているようです。『旅行記清国・日本』にその記述がありました。

日本橋の浮世絵から、読み取れることがたくさんあります。橋上を進んでくる行列には毛槍が2本、3万石以上の大名の印です。早立ちで、お天道様の赤味が背景に見えます。画面左には、江戸市中に仕入れた魚を籠に振り分けて天秤棒に下げて売りに行く姿、さらに左には高札場、右側には2頭の犬のお尻だけ、そして手前には木戸です。木戸は明け六つ、つまり日の出とともに開けられます。犬が見ている場所は南詰で、ここはさらし刑の罪人を晒す場所です。なお、反り橋はデフォルメされています。両国の江戸東京博物館内には、長さを半分にした日本橋が忠実に再現されています。それを見ると反りはそれほどきつくありません。

日本橋魚市場の名残は、三越前の通りに面したつく

だ煮や海苔のお店屋さんです。朝からの活気、将軍献上ブランド、なんといっても江戸の人々の旺盛な胃袋に支えられて経済力豊かな人達が多くいました。松尾芭蕉のパトロン杉山杉風も、その一人です。扱う魚種は今とほとんど同じです。これらのさかなは相州方面から、快速船の押送舟で運ばれてきました。北斎の神奈川冲浪裏の絵の船が、押送船です。



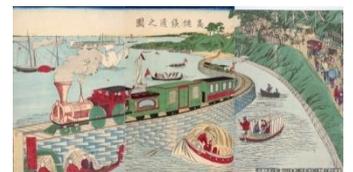
落語の「時蕎麦」では時刻の教え方が落ちですが、蕎麦一杯が16文、小麦粉とそば粉が二八の割合、ちくわぶやネギをのせていたなども当時の様子が見えて興味深いものです。

### 品川宿 最初の宿

日本橋を発って品川まで2時間の行程です。浮世絵では、陽の出の中を大名行列の最後尾が到着する様子が描かれています。ここで、小休止くらいはしたのでしょうか。



江戸からの出口は、高輪大木戸、品川宿の手前にあります。出立の旅人との別れは、ここ品川でした。品川の近頃のトピックスは、高輪駅新設工事で石垣の築堤が掘り出されたことです。新橋と横浜間に陸蒸気を走らせる際に、高輪付近は海中に土手を造成して線路を敷設しました。その遺構が発見されたのです。当時の様子の浮世絵と発掘された築堤の写真を見比べると、築堤の石垣の描写はよく似ている、陸蒸気の姿は人に聞いて想像で描いた、築堤の切れ目の通船口の橋台は雰囲気을伝えているなどがわかります。



高輪では潮干狩りとお月見が有名です。浮世絵に残っています。



品川宿で、持ち時間が尽きました。続きは、またの機会ということで、..ご清聴ありがとうございました。